

次世代型ハイブリッド蛍光灯

CCFL

(冷陰極蛍光ランプ)

省エネ・環境対応型ハイブリッド蛍光灯(C C F L)

「CCFL」は省エネ・エコ対応の次世代の照明

テレビやパソコンなどの液晶モニターに広く使われてきました CCFL (冷陰極蛍光ランプ) を直管蛍光灯型照明として活用するために開発されました。

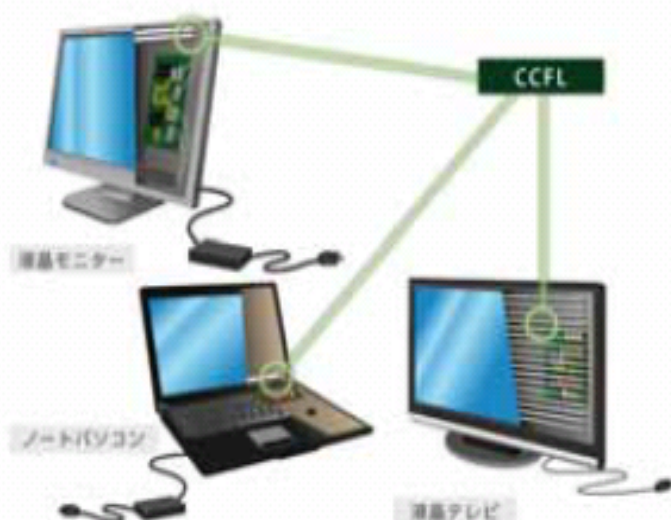
高輝度の光源

点滅に強い

低消費電力

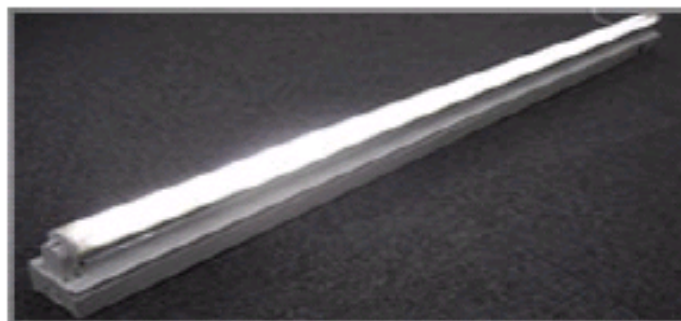
長寿命

CCFLは、広くPC・液晶TVに既に使われております。



“ Cold Cathode Fluorescent Lamp (冷陰極管)” の略称で、一般的な蛍光灯と電極構造が異なるものの発光原理は同じです。

ノートパソコンや液晶テレビのバックライトとして、IT機器の裏方で既に広く普及していますが、今回照明器具として、新たにデビューしました。



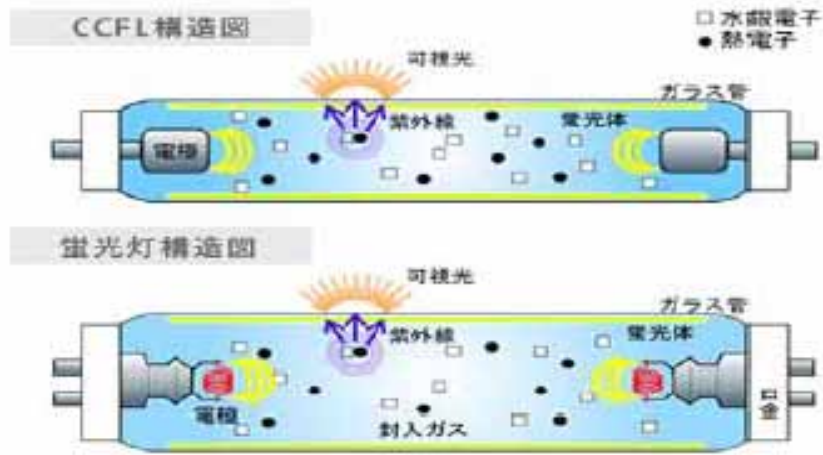
4E デザインによるハイブリッド照明



CCFL (冷陰極蛍光ランプ) の発光原理は、一般的な蛍光灯とほぼ同じですが、放電の仕方が異なります。

蛍光灯が電極加熱により電子を放出するのに対し、CCFL は加熱せずに電圧をかけて放出します。

電極部構造と電子放電の違いが両者の大きな相違点となっております。



優れた照明特性と品質

広い配光範囲	● 直管蛍光灯型LED照明に比べ、 広い配光 を確保しています。
目に優しい光	● 高周波点灯により" ちらつき "がなく、大量導入時も色ムラを感じません。 ● 演色性(Ra)は良好な約80を確保しています。
紫外線カット	● 波長400nm以下の近紫外線領域の光が、限りなく0に近い値となっており、物の色あせを防ぎ、 虫が寄りつきにくい 効果もあります。
低温設計	● 本体からの発熱を約50℃以下に抑えた設計となっており、 高い空調効率 が望めます。
飛散防止構造	● ポリカーボネートのカバーにより、地震などによる万が一の落下時にも、CCFL(冷陰極蛍光管)の ガラスが飛散しない 構造となっています。

省エネ効果の比較例

1灯あたりの比較（15時間点灯の場合）

	消費電力	製品寿命	電球購入費	月間電気代	月間コスト	月間省エネ金額 円
			月間コスト円	22円/KWH	円	
一般蛍光灯 40W直管型	45W	6,000～12,000時間	200～600(400)	446	466	(466-267) 約200円
		13～26(20)月	20円/月			
ハイブリッド蛍光灯 (40W型CCFL)	27W	40,000時間	7.4カ年では 交換不要	267	267	
		88ヶ月				

CCFLは、消費電力も低く長寿命で、ランプの交換作業・コスト、廃棄物も少なく、又、CO₂排出量の削減にもなります。

自然の恵みを甦らせ「食・健・美」を追究する創造企業

株式会社バーネット・インターナショナル

大阪市此花区島屋4丁目2-7 TEL06-6464-2161

FAX 06-6464-2163 URL <http://www.bernet.jp>